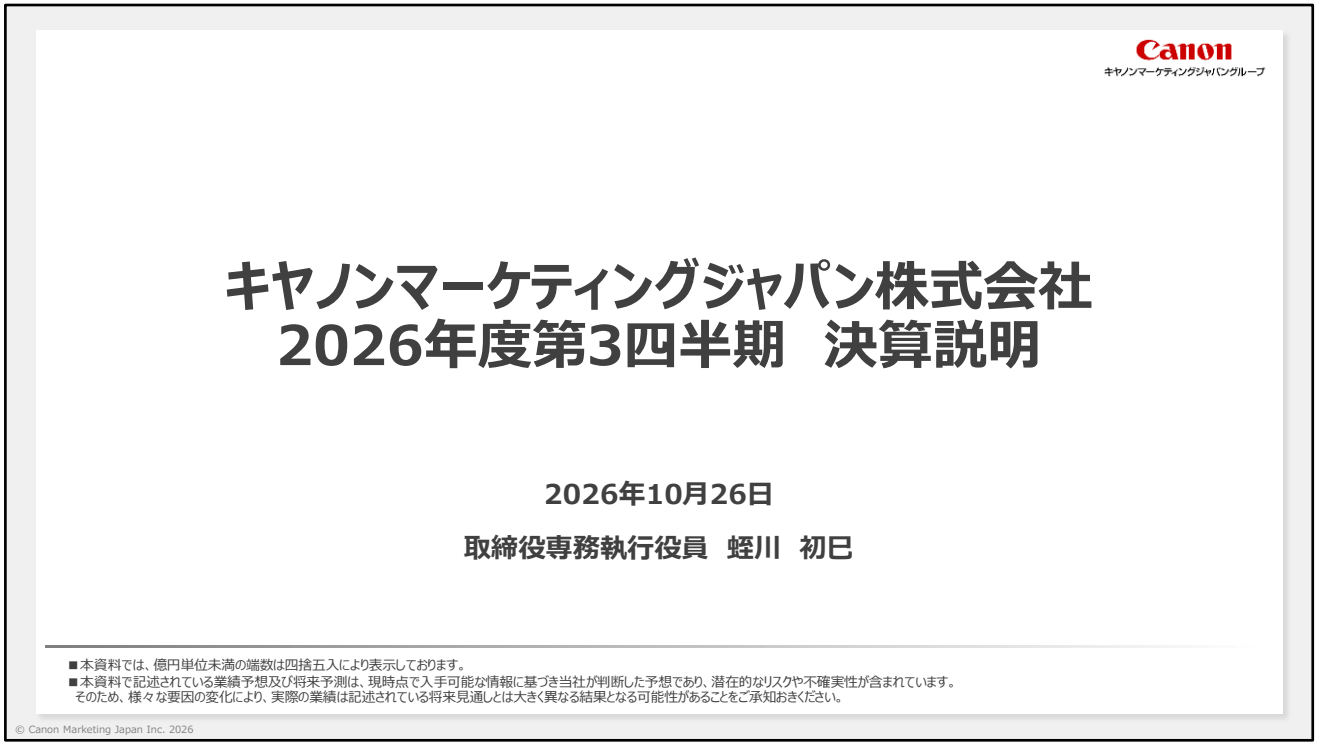


皆さま、こんにちは。蛭川でございます。

本日は大変お忙しい中、ご参加いただき、誠にありがとうございます。

アジェンダ

- 決算のポイント P.3
- 業績サマリー P.4、7
- 営業利益分析 P.5、8
- 業績　セグメント概要 P.6、9
- 業績　セグメント情報 P.10～13
- セグメント別　製品・サービス売上 P.14～15
- 業績予想サマリー P.16
- 業績予想　セグメント概要 P.17～18
- 業績予想　セグメント情報 P.19～22
- 主要製品売上・台数 P.23～24
- 参考資料 P.27～40

© Canon Marketing Japan Inc. 2026

それでは、2026年第3四半期決算と業績予想についてご説明いたします。

このアジェンダに沿って説明を進めてまいります。

決算のポイント

Canon
キヤノンマーケティングジャパングループ

2026年12月期　第3四半期（7月～9月）　業績概要

・対前年　増収・増益。
・営業利益、経常利益、純利益は第3四半期の過去最高を更新。
・価格改定前の駆け込み需要等もあり、売上・利益ともに計画以上に進捗。

2026年12月期　業績見通し

・前回計画から修正なし。6期連続の増収・増益を目指す。

トピックス

・「SCS評価制度」対応サービスを拡充
https://corporate.jp.canon/newsroom/newsrelease/2026/pr-0807a
・新しいコーポレートコミュニケーション企画をスタート
〈WEB掲載先〉キヤノンマーケティングジャパングループ　コミュニケーション活動サイト
https://corporate.jp.canon/profile/communications/ad/wakuwaku

© Canon Marketing Japan Inc. 2026

3ページ目は、決算のポイントです。

3Qは、対前年で増収・増益となりました。
営業利益、経常利益、純利益は、3Qの過去最高を更新しました。
キヤノン製品の価格改定前の駆け込み需要等もあり、売上・利益ともに計画以上の進捗となりました。

年間の見通しについては、前回計画から修正しておりません。
6期連続の増収・増益を目指します。

続いて、3Qのトピックスです。
経済産業省が推進する「サプライチェーン強化に向けたセキュリティ対策評価制度」への対応を支援する
サービスを拡充しました。
サイバー攻撃の巧妙化を背景に情報漏えいや不正アクセス等のセキュリティリスクが高まる中、
お客さまの安心・安全な事業運営に貢献します。

また、企業認知度向上に向けて、新しいコーポレートコミュニケーション企画をスタートしました。
当社は定期的にブランド調査を実施しており、その調査において、既に取引のあるお客さまや当社をご存知の方が、
次回も当社に相談したいと思う意向は高いことが判明しています。
当社の社名と特徴のあるITソリューションをより多くの方にお伝えしていきます。

今回のCMは「映像×AI」と「伴走するセキュリティ」をテーマに制作しております。
当社Webサイトでは、CMに加え、関連するソリューションや導入事例も掲載しておりますので、
ぜひご覧いただければ幸いです。

業績サマリー　第3四半期(7月～9月)

Canon
キヤノンマーケティングジャパングループ

- ✓ 営業利益、経常利益、純利益は第3四半期の過去最高を更新
- ✓ 営業利益率、経常利益率、純利益率も第3四半期の過去最高を更新

（単位：億円）

	2025年 3Q	2026年 3Q	増減	
			金額	率
売上高	1,580	**1,679**	+99	+6%
売上総利益	509 (32.2%)	**534** (31.8%)	+25 (△0.4pt)	+5%
営業利益	109 (6.9%)	**144** (8.6%)	+36 (+1.7pt)	+33%
経常利益	115 (7.3%)	**145** (8.6%)	+30 (+1.4pt)	+26%
親会社株主に帰属する四半期純利益	84 (5.3%)	**100** (5.9%)	+16 (+0.6pt)	+19%

© Canon Marketing Japan Inc. 2026

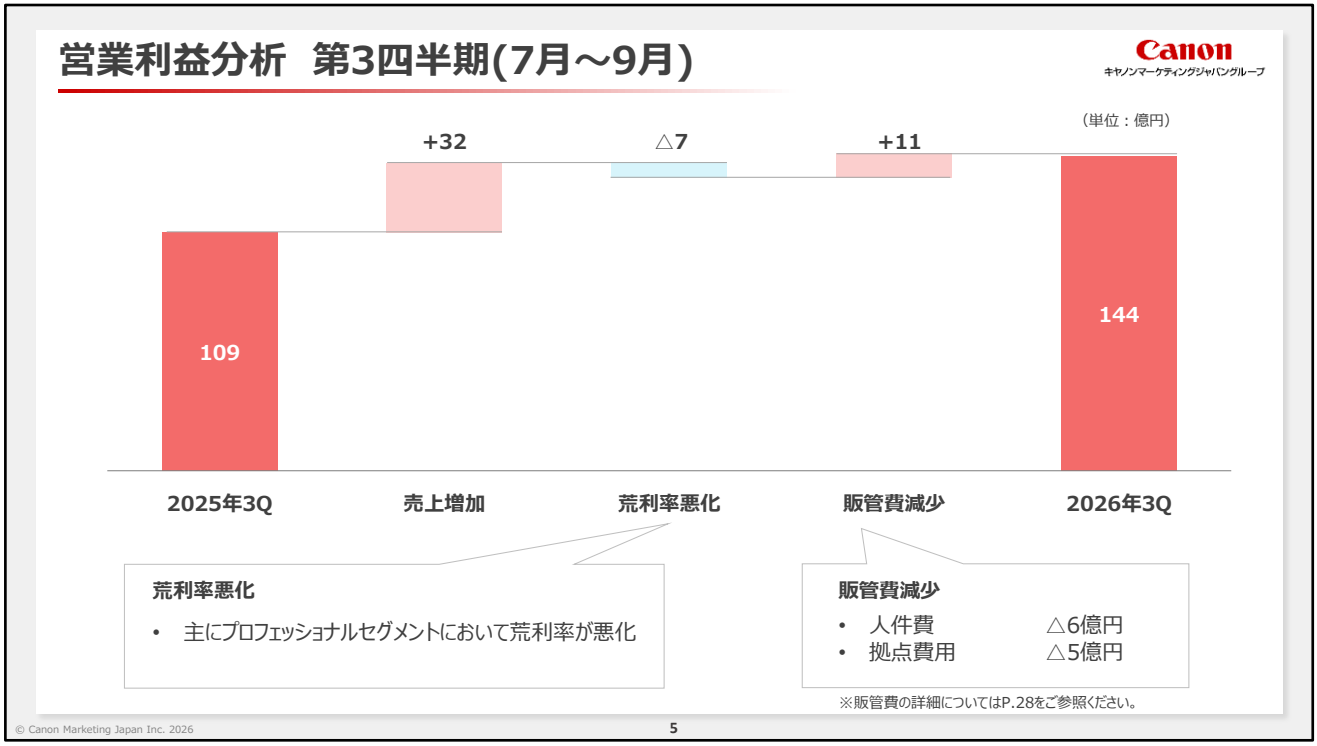
4ページ目は、3Qの業績サマリーです。

3Qは対前年で増収・増益となり、
営業利益、経常利益、純利益は、第3四半期の過去最高を更新しました。
また、営業利益率、経常利益率、純利益率についても、第3四半期の過去最高を更新しました。

売上は、「キヤノン製品他」および「ITソリューション」がともに増加したことにより、
対前年6%増の1,679億円となりました。

営業利益は、売上増加に伴う荒利の増加等により、対前年36億円増の144億円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、対前年16億円増の100億円となりました。



5ページ目は、3Qの営業利益分析です。

売上の増加に伴い荒利が32億円増加しております。

荒利率については、
主にプロフェッショナルセグメントにおいて、産業機器で高付加価値な案件の売上構成比が低下したことにより、
荒利率が悪化しております。

販管費については、人件費や拠点費用等が減少したことにより、11億円減少しております。

なお、3Qの販管費の詳細は28ページの「販管費の内訳」をご参照ください。

業績 セグメント概要　第3四半期(7月～9月)

（単位：億円）

	2025年 3Q		2026年 3Q		増減			
					売上高		営業利益	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	金額	率	金額	率
エンタープライズ	637	44	**684**	**53**	+47	+7%	+10	+22%
エリア	589	48	**588**	**56**	△1	△0%	+8	+18%
コンスーマ	317	23	**333**	**28**	+17	+5%	+6	+24%
プロフェッショナル	88	7	**116**	**13**	+28	+31%	+6	+78%
その他	△51	△13	**△43**	**△7**	+8	△16%	+6	△47%
合計	1,580	109	**1,679**	**144**	+99	+6%	+36	+33%

※「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、シェアードサービス事業、セグメント間取引消去を含んでおります。

© Canon Marketing Japan Inc. 2026

6ページ目は、3Qのセグメント別の実績概要です。

エリアセグメントで売上は前年同期並み、増益となりましたが、
エンタープライズセグメント、コンスーマセグメント、プロフェッショナルセグメントで増収・増益となりました。

セグメントごとの詳細については、この後ご説明いたします。

業績サマリー　第3四半期累計(1月～9月)

Canon
キヤノンマーケティングジャパングループ

- ✓ 営業利益、経常利益、純利益は3Q累計の過去最高を更新
- ✓ 営業利益率、経常利益率、純利益率も3Q累計の過去最高を更新

（単位：億円）

	2025年 1Q-3Q	2026年 1Q-3Q	増減	
			金額	率
売上高	4,918	**5,077**	+158	+3%
売上総利益	1,568 (31.9%)	**1,624** (32.0%)	+55 (+0.1pt)	+4%
営業利益	382 (7.8%)	**469** (9.2%)	+87 (+1.5pt)	+23%
経常利益	395 (8.0%)	**477** (9.4%)	+82 (+1.4pt)	+21%
親会社株主に帰属する四半期純利益	273 (5.5%)	**326** (6.4%)	+53 (+0.9pt)	+20%

© Canon Marketing Japan Inc. 2026

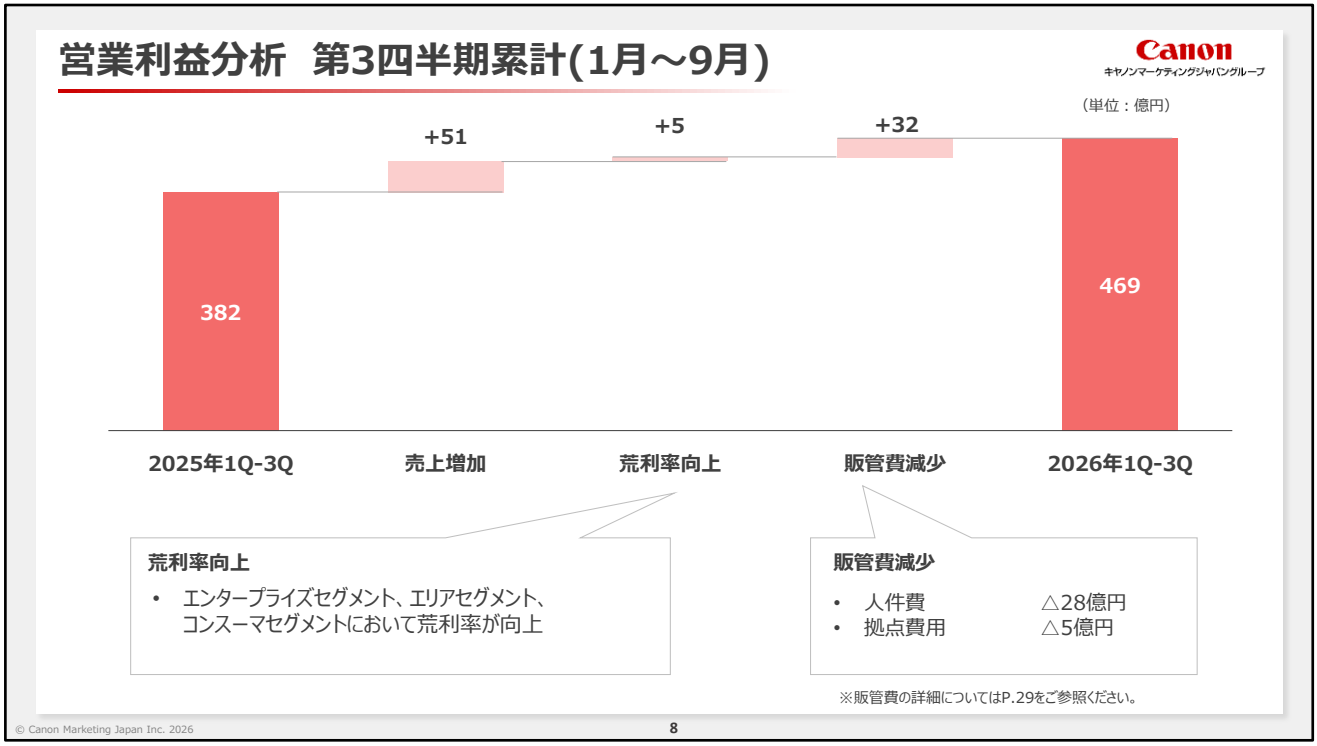
7ページ目からは、3Q累計の実績です。

2026年3Q累計の売上は、「ITソリューション」および「キヤノン製品他」がともに増加したことにより、増収となりました。

営業利益は、売上増加に伴う荒利の増加等により、増益となり、
3Q累計の過去最高を更新しました。

経常利益と親会社株主に帰属する四半期純利益も増益となり、
こちらも3Q累計の過去最高を更新しました。

また、営業利益率、経常利益率、純利益率についても、3Q累計の過去最高を更新しました。



8ページ目は、3Q累計の営業利益分析です。

売上の増加に伴い荒利が51億円増加しております。

荒利率については、主にエンタープライズセグメント、エリアセグメント、コンスーマセグメントで
高付加価値な商品やサービスの構成比が高まったこと等により、荒利率が向上しております。

販管費については、人件費、拠点費用等が減少したことにより、32億円減少しております。

なお、第3四半期累計の販管費の詳細は29ページの「販管費の内訳」をご参照ください。

業績 セグメント概要　第3四半期累計(1月～9月)

（単位：億円）

	2025年 1Q-3Q		2026年 1Q-3Q		増減			
					売上高		営業利益	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	金額	率	金額	率
エンタープライズ	1,972	141	**2,053**	**169**	+81	+4%	+28	+20%
エリア	1,783	161	**1,776**	**186**	△8	△0%	+25	+15%
コンスーマ	974	73	**1,014**	**95**	+41	+4%	+22	+31%
プロフェッショナル	349	36	**363**	**40**	+14	+4%	+4	+11%
その他	△160	△29	**△130**	**△21**	+30	△19%	+8	△29%
合計	4,918	382	**5,077**	**469**	+158	+3%	+87	+23%

※「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、シェアードサービス事業、セグメント間取引消去を含んでおります。

© Canon Marketing Japan Inc. 2026

9ページ目は、3Q累計のセグメント別の実績概要です。

エリアセグメントで売上は前年同期並み、増益となりましたが、
エンタープライズセグメント、コンスーマセグメント、プロフェッショナルセグメントで増収・増益となりました。

業績 セグメント情報　エンタープライズ

Canon
キヤノンマーケティングジャパングループ

エンタープライズ　SMB　コンシューマー　プロフェッショナル

- ✓ 売上高は、「キヤノン製品他」および「ITソリューション」が順調に推移したことにより、増収
- ✓ 営業利益は、売上増加に伴う荒利の増加により、増益

（単位：億円）

	3Q実績（7-9月）				累計実績（1-9月）			
	2025年	2026年	増減 金額	増減 率	2025年	2026年	増減 金額	増減 率
キヤノン製品他	148	**159**	+11	+7%	436	**459**	+24	+6%
ITソリューション	489	**525**	+36	+7%	1,536	**1,594**	+58	+4%
売上高計	637	**684**	+47	+7%	1,972	**2,053**	+81	+4%
営業利益	44	**53**	+10	+22%	141	**169**	+28	+20%
利益率	6.9%	**7.8%**	+0.9pt	−	7.1%	**8.2%**	+1.1pt	−

■（ご参考）主要関係会社実績　キヤノンITソリューションズ

	3Q実績（7-9月）		増減		累計実績（1-9月）		増減	
	2025年	2026年	金額	率	2025年	2026年	金額	率
売上高	368	376	+7	+2%	1,152	1,175	+23	+2%
営業利益	38	32	△6	△16%	116	111	△5	△4%

※2025年7月より、ＴＣＳ株式会社をキヤノンITソリューションズへ合併したことに伴い、キヤノンITソリューションズの2025年実績を組替えております。

キヤノンITソリューションズ受注高・受注残高（対前年伸び率）

	1Q実績	2Q実績	3Q実績
受注高	+8%	+13%	+12%
受注残高	△9%	△2%	+6%

© Canon Marketing Japan Inc. 2026

10ページ目は、エンタープライズセグメントのご説明です。

3Qの売上は、「キヤノン製品他」および「ITソリューション」が順調に推移したことにより、
対前年7%増の684億円となりました。
営業利益は、売上増加に伴う荒利の増加により、対前年10億円増の53億円となりました。

（キヤノン製品他）
「キヤノン製品他」については、オフィスMFPの台数は減少したものの、
オフィスMFPの保守サービスについては本体稼働台数の増加および、
カラー出力比率が高まったことにより、売上は増加しました。
レーザープリンターについては大型案件があり台数は大幅に増加となり、
レーザープリンターカートリッジについても大口の受注があり、売上は大幅に増加しました。
これらの結果、「キヤノン製品他」全体の売上は対前年7%増となりました。

（ITソリューション）
「ITソリューション」については文教向けIT基盤大型案件の獲得や、
金融業向けBPO案件が好調に推移したこと等により、対前年7%増となりました。

業績 セグメント情報　エンタープライズ

Canon
キヤノンマーケティングジャパングループ

エンタープライズ　SMB　コンシューマー　プロフェッショナル

- ✓ 売上高は、「キヤノン製品他」および「ITソリューション」が順調に推移したことにより、増収
- ✓ 営業利益は、売上増加に伴う荒利の増加により、増益

（単位：億円）

	3Q実績（7-9月）				累計実績（1-9月）			
	2025年	2026年	増減 金額	増減 率	2025年	2026年	増減 金額	増減 率
キヤノン製品他	148	**159**	+11	+7%	436	**459**	+24	+6%
ITソリューション	489	**525**	+36	+7%	1,536	**1,594**	+58	+4%
売上高計	637	**684**	+47	+7%	1,972	**2,053**	+81	+4%
営業利益	44	**53**	+10	+22%	141	**169**	+28	+20%
利益率	6.9%	**7.8%**	+0.9pt	−	7.1%	**8.2%**	+1.1pt	−

■（ご参考）主要関係会社実績　キヤノンITソリューションズ

	3Q実績（7-9月）		増減		累計実績（1-9月）		増減	
	2025年	2026年	金額	率	2025年	2026年	金額	率
売上高	368	376	+7	+2%	1,152	1,175	+23	+2%
営業利益	38	32	△6	△16%	116	111	△5	△4%

※2025年7月より、ＴＣＳ株式会社をキヤノンITソリューションズへ合併したことに伴い、キヤノンITソリューションズの2025年実績を組替えております。

キヤノンITソリューションズ受注高・受注残高（対前年伸び率）

	1Q実績	2Q実績	3Q実績
受注高	+8%	+13%	+12%
受注残高	△9%	△2%	+6%

© Canon Marketing Japan Inc. 2026

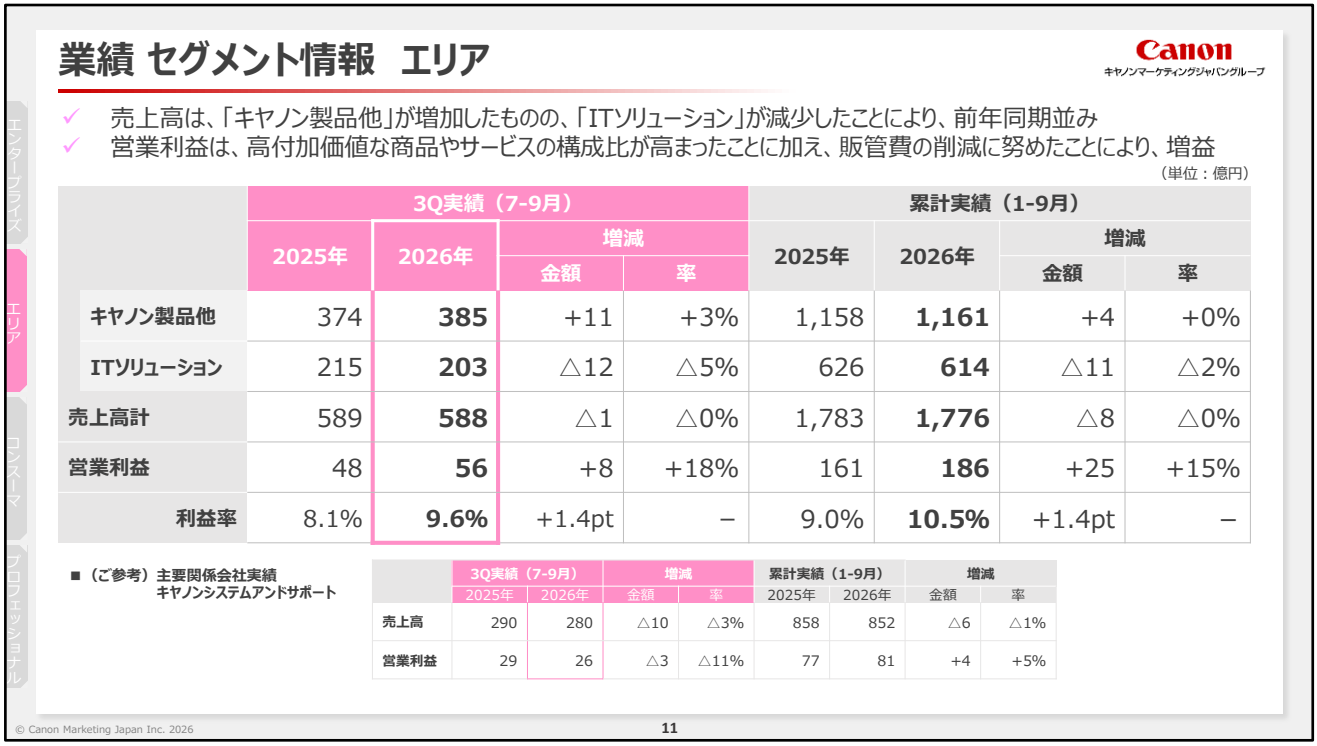
【キヤノンITソリューションズ実績／受注高・受注残高】
主要関係会社のキヤノンITソリューションズの実績についてご説明します。

キヤノンITソリューションズの売上は、対前年2%増の376億円となりました。
営業利益は、組込み領域を中心とした製造業向けSI案件等の減少による荒利の減少に加え、
提案活動強化に伴うSE費用等の販管費の増加により、対前年6億円減の32億円となりました。
2Qに発生した流通業向け不採算案件の追加費用は3Qは発生しておりません。

受注高は、データセンター案件があったことや、ウイルス対策ソフト「ESET」等のセキュリティ、
金融業向けSI案件が堅調に推移し、対前年12%増となりました。

また、受注残高についても、金融業向けSI案件の受注が拡大していることや、データセンター案件等により、
対前年6%増となりました。

【プリマジェストの状況】
プリマジェストの売上については、複数の銀行向け案件が増加し増収となりました。
エンタープライズセグメント内でのシナジー創出が継続しており、
3Qにおいても金融業向けのお客さまで新規案件を受注しました。



業績 セグメント情報　エリア

Canon
キヤノンマーケティングジャパングループ

- ✓ 売上高は、「キヤノン製品他」が増加したものの、「ITソリューション」が減少したことにより、前年同期並み
- ✓ 営業利益は、高付加価値な商品やサービスの構成比が高まったことに加え、販管費の削減に努めたことにより、増益

（単位：億円）

	3Q実績（7-9月）				累計実績（1-9月）			
	2025年	2026年	増減 金額	増減 率	2025年	2026年	増減 金額	増減 率
キヤノン製品他	374	**385**	+11	+3%	1,158	**1,161**	+4	+0%
ITソリューション	215	**203**	△12	△5%	626	**614**	△11	△2%
売上高計	589	**588**	△1	△0%	1,783	**1,776**	△8	△0%
営業利益	48	**56**	+8	+18%	161	**186**	+25	+15%
利益率	8.1%	**9.6%**	+1.4pt	–	9.0%	**10.5%**	+1.4pt	–

■（ご参考）主要関係会社実績
キヤノンシステムアンドサポート

	3Q実績（7-9月）		増減		累計実績（1-9月）		増減	
	2025年	2026年	金額	率	2025年	2026年	金額	率
売上高	290	280	△10	△3%	858	852	△6	△1%
営業利益	29	26	△3	△11%	77	81	+4	+5%

© Canon Marketing Japan Inc. 2026

11ページ目は、エリアセグメントのご説明です。

3Qの売上は、「キヤノン製品他」が増加したものの、「ITソリューション」が減少したことにより、
前年同期並みの588億円となりました。
営業利益は、高付加価値な商品やサービスの構成比が高まったことによる
荒利率の向上に加え、販管費の削減に努めたことにより、対前年8億円増の56億円となりました。

（キヤノン製品他）
「キヤノン製品他」については、
オフィスMFPの台数は増加となり、オフィスMFPの保守サービスの売上は微増となりました。
レーザープリンターの台数については、微減となったものの、レーザープリンターカートリッジについては、
価格改定を見据えた駆け込み需要等により、売上は大幅に増加しました。
これらの結果、「キヤノン製品他」全体の売上は対前年3%増となりました。

（ITソリューション）
「ITソリューション」については、ウイルス対策ソフト「ESET」等のセキュリティが好調に推移したことに加え、
中小企業のサステナブル経営・DX推進をトータルで支援する「まかせてIT」の契約件数が増加しました。
一方で、前年同期のWindows10のサポート終了に伴うビジネスPCの入替需要の反動により、
売上は対前年5%減となりました。

【キヤノンシステムアンドサポート実績】
主要関係会社のキヤノンシステムアンドサポートの売上は、対前年3%減の280億円となりました。
営業利益は、「まかせてIT」等が順調に推移していることで荒利率は向上しているものの、
人件費等の販管費が増加していることで、対前年3億円減の26億円となりました。

キヤノンシステムアンドサポートは、ビジネスPC需要の反動減があるものの、
「まかせてIT」の伸長や「サプライチェーン強化に向けたセキュリティ対策評価制度」への対応に
関連した案件も増加しており、引き続き成長に向けた取り組みは着実に進展しています。

業績 セグメント情報　コンスーマ

Canon
キヤノンマーケティングジャパングループ

- ✓ 売上高は、レンズ交換式カメラやコンパクトカメラが増加したこと等により、増収
- ✓ 営業利益は、売上増加に伴う荒利の増加に加え、高付加価値な商品の構成比が高まったことにより、増益

（単位：億円）

	3Q実績（7-9月）				累計実績（1-9月）			
	2025年	2026年	増減		2025年	2026年	増減	
			金額	率			金額	率
キヤノン製品他	226	**242**	+16	+7%	682	**723**	+41	+6%
ITソリューション	91	**92**	+1	+1%	292	**292**	△1	△0%
売上高計	317	**333**	+17	+5%	974	**1,014**	+41	+4%
営業利益	23	**28**	+6	+24%	73	**95**	+22	+31%
利益率	7.2%	**8.5%**	+1.3pt	–	7.5%	**9.4%**	+1.9pt	–

■コンスーマ製品（対前年伸び率）

		1Q実績	2Q実績	3Q実績
レンズ交換式カメラ	（台数）	+18%	△5%	+11%
インクジェットプリンター	（台数）	△7%	△9%	△12%
インクジェットプリンターカートリッジ	（金額）	△3%	+4%	△6%

© Canon Marketing Japan Inc. 2026

12ページ目は、コンスーマセグメントのご説明です。

3Qの売上は、レンズ交換式カメラやコンパクトカメラが増加したこと等により、対前年5%増の333億円となりました。
営業利益は、売上増加に伴う荒利の増加に加え、
高付加価値な商品の構成比が高まったことによる荒利率の向上により、対前年6億円増の28億円となりました。

（レンズ交換式カメラ）
レンズ交換式カメラについては、「EOS R50」や「EOS R50 V」等のエントリークラスが好調に推移したことに加え、
昨年11月に発売した「EOS R6 Mark III」等が増加したことにより、台数は対前年11%増となりました。

交換レンズについては、EOS Rシリーズへの移行が促進されたことで、RFマウントへの買い替えが進んだものの、
5月の価格改定前の駆け込み需要の反動により、売上は減少しました。

（インクジェットプリンター）
インクジェットプリンターについては、市場の縮小等により、台数は対前年12%減となりました。
インクカートリッジについては、プリントボリュームの減少等により、売上は減少しました。

（ITプロダクト）
ITプロダクトについては、前年同期にWindows10のサポート終了に伴う需要等により
高性能PCやPC周辺機器の販売が好調に推移し、その反動があったものの、
メモリの価格高騰への懸念からポータブルSSD等が好調に推移したことにより、売上は微増となりました。

業績 セグメント情報　プロフェッショナル

Canon
キヤノンマーケティングジャパングループ

- ✓ 売上高は、産業機器とヘルスケアの増加により、増収
- ✓ 営業利益は、売上増加に伴う荒利の増加等により、増益

（単位：億円）

	3Q実績（7-9月）				累計実績（1-9月）			
	2025年	2026年	増減		2025年	2026年	増減	
			金額	率			金額	率
プロダクションプリンティング	22	**21**	△2	△7%	67	**66**	△1	△2%
産業機器	33	**60**	+27	+83%	134	**131**	△3	△2%
ヘルスケア	33	**35**	+2	+6%	148	**166**	+18	+12%
売上高計	88	**116**	+28	+31%	349	**363**	+14	+4%
営業利益	7	**13**	+6	+78%	36	**40**	+4	+11%
利益率	8.3%	**11.2%**	+2.9pt	−	10.3%	**11.0%**	+0.7pt	−

■（ご参考）主要関係会社実績
キヤノンプロダクションプリンティングシステムズ

	3Q実績（7-9月）		増減		累計実績（1-9月）		増減	
	2025年	2026年	金額	率	2025年	2026年	金額	率
売上高	21	20	△1	△6%	63	62	△1	△1%
営業利益	1	1	△0	△28%	3	4	+1	+20%

© Canon Marketing Japan Inc. 2026

13ページ目は、プロフェッショナルセグメントのご説明です。

3Qの売上は、産業機器とヘルスケアの増加により、対前年31%増の116億円となりました。
営業利益は、売上増加に伴う荒利の増加等により、対前年6億円増の13億円となりました。

（プロダクションプリンティング）
プロダクションプリンティングについては、前年同期にモノクロ連帳プリンターの案件があり、
その剥落等により、売上は対前年7%減となりました。

【キヤノンプロダクションプリンティングシステムズ実績】
主要関係会社のキヤノンプロダクションプリンティングシステムズの売上は、対前年6%減の20億円となりました。
営業利益は、対前年3千万円減の1億円となりました。

（産業機器）
産業機器については、半導体関連の検査・計測装置の大型案件があったこと等により、
売上は対前年83%増となりました。

（ヘルスケア）
ヘルスケアについては、病院や診療所向けの案件が増加したこと等により、売上は対前年6%増となりました。

セグメント別　製品・サービス売上　第3四半期(7月～9月)

Canon
キヤノンマーケティングジャパングループ

（単位：億円）

	エンタープライズ		エリア		コンスーマ		プロフェッショナル		その他		合計		ITS構成比
	2025年3Q	2026年3Q	2025年3Q	2026年3Q	2025年3Q	2026年3Q	2025年3Q	2026年3Q	2025年3Q	2026年3Q	2025年3Q	2026年3Q	2026年3Q
SI・ソリューション	188	185	20	21	–	–	33	35	△4	△3	238	239	28%
（対前年）		△1%		+3%		-		+6%		-		+1%	
サービス・アウトソーシング	203	219	47	52	–	–	3	4	△6	△5	247	269	32%
（対前年）		+8%		+11%		-		+23%		-		+9%	
ITプロダクト・システム構築	98	121	148	131	91	92	–	–	△11	△5	326	339	40%
（対前年）		+23%		△12%		+1%		-		-		+4%	
ITソリューション合計	489	525	215	203	91	92	37	39	△20	△12	811	847	100%
（対前年）		+7%		△5%		+1%		+7%		-		+4%	
キヤノン製品他	148	159	374	385	226	242	52	77	△30	△30	769	832	
（対前年）		+7%		+3%		+7%		+48%		-		+8%	
合計	637	684	589	588	317	333	88	116	△51	△43	1,580	1,679	
（対前年）		+7%		△0%		+5%		+31%		-		+6%	

※「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、シェアードサービス事業、セグメント間取引消去を含んでおります。
※2026年1月より、ITソリューションにおける3区分の名称を「SIサービス」「保守・運用サービス/アウトソーシング」「ITプロダクト・システム販売」から、「SI・ソリューション」「サービス・アウトソーシング」「ITプロダクト・システム構築」に変更し、集計基準を変更しました。これに伴い、2025年実績を組替えております。

© Canon Marketing Japan Inc. 2026

14ページ目は、セグメント別 製品・サービスの売上です。
ここでは、ITソリューションの3Qの実績についてご説明します。

まずは、「SI・ソリューション」です。
プロフェッショナルセグメントのヘルスケアにおいて、病院や診療所案件が増加したことに加え、
エリアセグメントにおいて、ソフトウェアのサポート終了に伴う入替提案の活発化に伴い、
基幹業務ソフトの販売が好調に推移したこと等により、対前年1%増となりました。

次に、「サービス・アウトソーシング」です。
エンタープライズセグメントにおいて、金融業向けBPO案件が好調に推移したことや、
エリアセグメントにおいて、ウイルス対策ソフト「ESET」や、「まかせてIT」が順調に推移したこと等により、
対前年9%増となりました。

次に、「ITプロダクト・システム構築」です。
エンタープライズセグメント、エリアセグメント、コンスーマセグメントでWindows10サポート終了に伴う
ビジネスPCの入替需要の反動減により、PCの売上は当初の想定通り約30億円減少しました。
一方で、エンタープライズセグメントで文教向けIT基盤大型案件があったことに加え、
コンスーマセグメントにおいてポータブルSSD等が好調に推移したことにより、
「ITプロダクト・システム構築」全体の売上は対前年4%増となりました。

これらの結果、グループITソリューション全体の売上は、対前年4%増となりました。

セグメント別　製品・サービス売上　第3四半期累計(1月～9月)

キヤノンマーケティングジャパングループ

（単位：億円）

	エンタープライズ		エリア		コンスーマ		プロフェッショナル		その他		合計		ITS構成比
	2025年1Q-3Q	2026年1Q-3Q	2025年1Q-3Q	2026年1Q-3Q	2025年1Q-3Q	2026年1Q-3Q	2025年1Q-3Q	2026年1Q-3Q	2025年1Q-3Q	2026年1Q-3Q	2025年1Q-3Q	2026年1Q-3Q	2026年1Q-3Q
SI・ソリューション	549	564	58	66	－	－	150	168	△7	△8	749	789	30%
（対前年）		+3%		+15%		-		+12%		-		+5%	
サービス・アウトソーシング	606	643	141	155	－	－	11	12	△17	△15	740	795	30%
（対前年）		+6%		+10%		-		+15%		-		+7%	
ITプロダクト・システム構築	382	388	427	393	292	292	0	0	△46	△16	1,055	1,057	40%
（対前年）		+2%		△8%		△0%		-		-		+0%	
ITソリューション合計	1,536	1,594	626	614	292	292	160	180	△70	△39	2,545	2,640	100%
（対前年）		+4%		△2%		△0%		+12%		-		+4%	
キヤノン製品他	436	459	1,158	1,161	682	723	189	183	△90	△90	2,374	2,436	
（対前年）		+6%		+0%		+6%		△3%		-		+3%	
合計	1,972	2,053	1,783	1,776	974	1,014	349	363	△160	△130	4,918	5,077	
（対前年）		+4%		△0%		+4%		+4%		-		+3%	

※「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、シェアードサービス事業、セグメント間取引消去を含んでおります。
※2026年1月より、ITソリューションにおける3区分の名称を「SIサービス」「保守・運用サービス/アウトソーシング」「ITプロダクト・システム販売」から、「SI・ソリューション」「サービス・アウトソーシング」「ITプロダクト・システム構築」に変更し、集計基準を変更しました。これに伴い、2025年実績を組替えております。

© Canon Marketing Japan Inc. 2026

15ページ目は、第3四半期累計のセグメント別 製品・サービスの売上です。

「SI・ソリューション」が対前年5%増、「サービス・アウトソーシング」が対前年7%増、
「ITプロダクト・システム構築」が前年同期並みとなり、
グループITソリューション全体の売上は対前年4%増となりました。

業績予想サマリー

（単位：億円）

	2026年 年間 前回予想	2026年 年間 今回予想	増減 金額	増減 率	2025年 年間 実績	増減 金額	増減 率
売上高	6,850	**6,850**	－	－	6,798	+52	+1%
営業利益	630 (9.2%)	**630 (9.2%)**	－ －	－	582 (8.6%)	+48 (+0.6pt)	+8%
経常利益	640 (9.3%)	**640 (9.3%)**	－ －	－	598 (8.8%)	+42 (+0.5pt)	+7%
親会社株主に帰属する当期純利益	440 (6.4%)	**440 (6.4%)**	－ －	－	415 (6.1%)	+25 (+0.3pt)	+6%

© Canon Marketing Japan Inc. 2026

16ページ目は、業績予想サマリーです。

3Qは増収・増益となりました。
9月1日からプリンティング関連のキヤノン製品の価格改定を実施しており、価格改定前の駆け込み需要に加え、
4Qからの前倒し案件もあったことにより、売上・利益ともに計画を上回る進捗となりました。

一方、4Qについては、価格改定前の駆け込み需要の反動減等が見込まれることから、
年間の予想は前回公表値から変更しておりません。

4Qの状況に関しては、後ほどご説明いたします。

業績予想　セグメント概要　前年比較

（単位：億円）

	2025年 年間 実績		2026年 年間 予想		増減			
					売上高		営業利益	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	金額	率	金額	率
エンタープライズ	2,658	211	**2,754**	**227**	+96	+4%	+16	+8%
エリア	2,403	223	**2,355**	**240**	△48	△2%	+17	+8%
コンスーマ	1,448	130	**1,426**	**137**	△22	△2%	+7	+5%
プロフェッショナル	488	55	**490**	**53**	+2	+0%	△2	△4%
その他	△198	△38	**△175**	**△27**	+23	−	+11	−%
合計	6,798	582	**6,850**	**630**	+52	+1%	+48	+8%

※「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、シェアードサービス事業、セグメント間取引消去を含んでおります。

© Canon Marketing Japan Inc. 2026

17ページ目は、セグメント別業績予想の前年比較です。

売上は、エリアセグメントとコンスーマセグメントで減収となりますが、
エンタープライズセグメントとプロフェッショナルセグメントで増収となる見込みです。

営業利益については、プロフェッショナルセグメントで減益となりますが、
エンタープライズセグメント、エリアセグメント、コンスーマセグメントで増益となる見込みです。

業績予想　セグメント概要　前年比較　詳細

（単位：億円）

	2025年				2026年				増減			
	1Q-3Q（実績）		4Q（実績）		1Q-3Q（実績）		4Q（計画）		1Q-3Q		4Q	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
エンタープライズ	1,972	141	686	70	**2,053**	**169**	**701**	**58**	+81	+28	+15	△12
エリア	1,783	161	619	62	**1,776**	**186**	**579**	**54**	△8	+25	△40	△8
コンスーマ	974	73	474	57	**1,014**	**95**	**412**	**42**	+41	+22	△63	△16
プロフェッショナル	349	36	139	19	**363**	**40**	**127**	**13**	+14	+4	△13	△6
その他	△160	△29	△39	△9	**△130**	**△21**	**△45**	**△6**	+30	+8	△7	+3
合計	4,918	382	1,880	200	**5,077**	**469**	**1,773**	**161**	+158	+87	△106	△39

※「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、シェアードサービス事業、セグメント間取引消去を含んでおります。

© Canon Marketing Japan Inc. 2026

18ページ目は、3Q累計の実績および4Qの業績予想の対前年比較です。

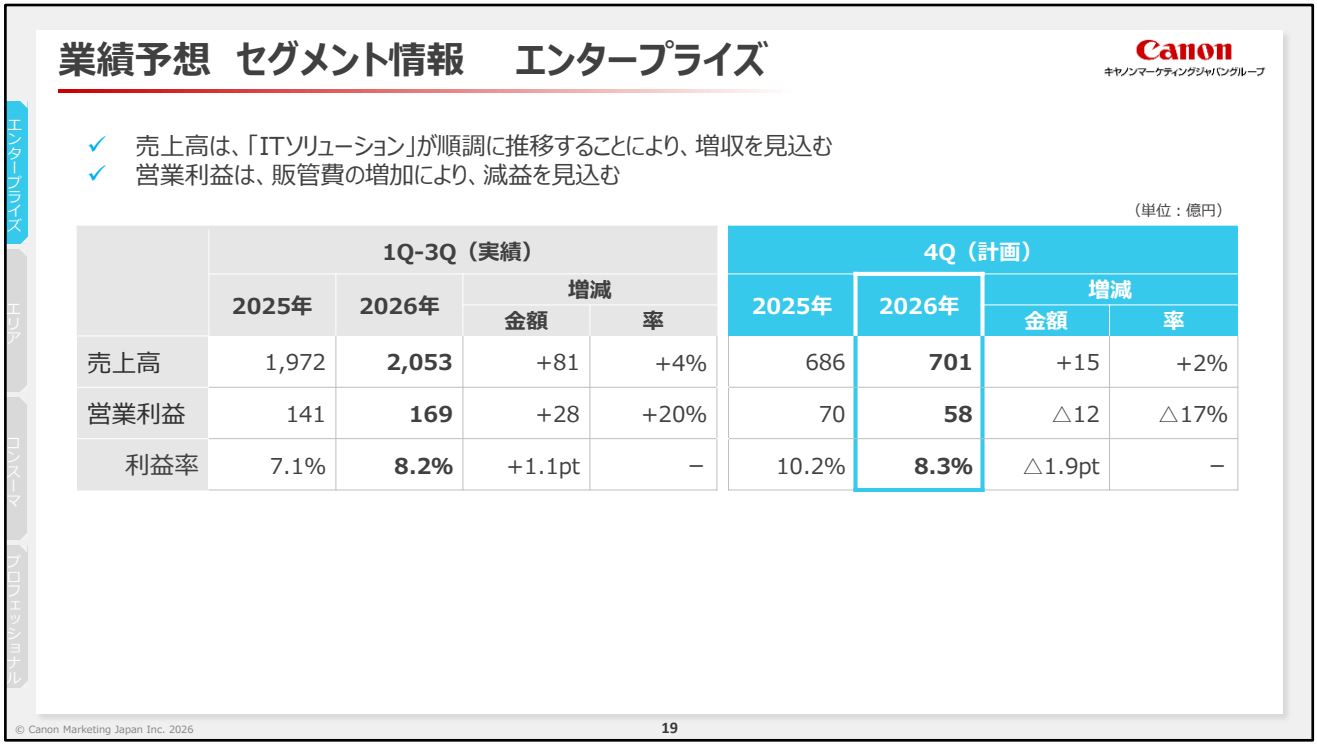
4Qは、Windows10サポート終了に伴うPCの入替需要の反動減が想定されることに加え、
販管費については、新しいビジネス創出に向けた研究費・開発費等の事業投資や、
ビジネスプロセス改革のためのIT・設備投資等の将来の成長に向けた投資費用に加え、
企業認知度向上に向けた広告宣伝費等の増加を見込んでいる状況です。

さらに、メモリの供給ひっ迫や中東情勢等の外部環境を背景としたさまざまなリスクが見込まれることや、
先ほどご説明した通り、4Qから3Qに前倒しの需要があったこと等から、4Qは減収・減益の計画となります。

一方で、日本経済は労働人口の減少を背景に、ITを活用した生産性向上へのニーズは引き続き高く、
また、不正アクセスや個人情報漏えいへの対応をはじめとするサイバーセキュリティ対策へのニーズも
一層高まっています。

当社グループは、こうしたニーズに対して積極的な提案を行うことで、
ITソリューション事業の収益性向上を伴った売上拡大と、キヤノン製品事業のさらなる収益力強化に取り組み、
6年連続の増収・増益および過去最高益の更新を目指します。

セグメントごとの詳細については、この後ご説明いたします。



19ページ目からは、業績予想をセグメントごとに説明いたします。

まずは、エンタープライズセグメントです。4Qは、増収・減益を見込んでおります。

売上は、対前年2%増の701億円を見込んでおります。
営業利益は、レーザープリンターカートリッジで価格改定前の駆け込み需要の反動により荒利が減少することに加え、
新規案件獲得のためのSE費用や、新しいビジネス創出に向けた開発費等の販管費の増加により、
対前年12億円減の58億円を見込んでおります。

「キヤノン製品他」については、レーザープリンターの台数は複数の大型案件により大幅に増加することに加え、
オフィスMFPの保守サービスは、本体稼働台数の増加に伴い、増加となる見込みです。
一方、オフィスMFPの台数およびレーザープリンターカートリッジの売上は減少する見込みです。
これらの結果、「キヤノン製品他」の売上は減少する見込みですが、
引き続きお客さまの業務プロセス改善に寄与する積極的な提案を継続してまいります。

「ITソリューション」については、キヤノンITソリューションズにおいて金融業向けのSI案件が好調に推移する見込みです。
また、キヤノンマーケティングジャパンにおいて、BPOが好調に推移すること等により、売上は増加する見込みです。

業績予想　セグメント情報　　エリア

Canon
キヤノンマーケティングジャパングループ

- ✓ 売上高は、「キヤノン製品他」が減少することに加え、「ITソリューション」が減少することにより、減収を見込む
- ✓ 営業利益は、売上減少に伴う荒利の減少に加え、販管費の増加により、減益を見込む

（単位：億円）

	1Q-3Q（実績）				4Q（計画）			
	2025年	2026年	増減		2025年	2026年	増減	
			金額	率			金額	率
売上高	1,783	**1,776**	△8	△0%	619	**579**	△40	△6%
営業利益	161	**186**	+25	+15%	62	**54**	△8	△13%
利益率	9.0%	**10.5%**	+1.4pt	–	10.0%	**9.3%**	△0.7pt	–

© Canon Marketing Japan Inc. 2026

次に、エリアセグメントです。4Qは、減収・減益を見込んでおります。

売上は、対前年6%減の579億円を見込んでおります。
営業利益は、高付加価値な商品やサービスの構成比が高まることにより荒利率が向上するものの、
売上減少に伴う荒利の減少に加え、物流費等の販管費の増加により、
対前年8億円減の54億円を見込んでおります。

「キヤノン製品他」については、オフィスMFPの台数およびオフィスMFPの保守サービスは微増となる見込みです。
一方で、前年同期に複数の大型案件があり、その剥落により、レーザープリンターの台数は減少する見込みです。
レーザープリンターカートリッジについては、価格改定前の駆け込み需要の反動により、減少する見込みです。
これらの結果、「キヤノン製品他」の売上は減少する見込みです。

「ITソリューション」については、ウイルス対策ソフト「ESET」などのセキュリティや、
中小企業のサステナブル経営・DX推進をトータルで支援する「まかせてIT」等が順調に推移するものの、
Windows10のサポート終了の影響で前年にPCの売上が大幅に増加したことの反動等により、
売上は減少する見込みです。

業績予想　セグメント情報　コンスーマ

Canon
キヤノンマーケティングジャパングループ

- ✓ 売上高は、インクジェットプリンターやITプロダクトの減少により、減収を見込む
- ✓ 営業利益は、売上減少に伴う荒利の減少に加え、販管費の増加により、減益を見込む

（単位：億円）

	1Q-3Q（実績）				4Q（計画）			
	2025年	2026年	増減		2025年	2026年	増減	
			金額	率			金額	率
売上高	974	**1,014**	+41	+4%	474	**412**	△63	△13%
営業利益	73	**95**	+22	+31%	57	**42**	△16	△27%
利益率	7.5%	**9.4%**	+1.9pt	–	12.1%	**10.2%**	△1.9pt	–

© Canon Marketing Japan Inc. 2026

次に、コンスーマセグメントです。4Qは、減収・減益を見込んでおります。

売上は、対前年13%減の412億円を見込んでおります。
営業利益は、売上減少に伴う荒利の減少に加え、広告宣伝費等の販管費が増加することにより、
対前年16億円減の42億円を見込んでおります。

レンズ交換式カメラについては、10月に発売予定の「EOS R8 Mark II」の販売が増加するものの、
昨年11月に発売した「EOS R6 Mark III」の発売があった反動等により、売上は減少する見込みです。

インクジェットプリンターおよびインクカートリッジについては、市場の縮小により、売上は減少する見込みです。

ITプロダクトについては、Windows10のサポート終了の影響で
前年に高性能PCやPC周辺機器の売上が大幅に増加したことの反動等により、売上は減少する見込みです。

業績予想　セグメント情報　プロフェッショナル

Canon
キヤノンマーケティングジャパングループ

- ✓ 売上高は、プロダクションプリンティングは増加するものの、産業機器とヘルスケアが減少することにより、減収を見込む
- ✓ 営業利益は、売上減少に伴う荒利の減少に加え、販管費の増加により、減益を見込む

（単位：億円）

	1Q-3Q（実績）				4Q（計画）			
	2025年	2026年	増減		2025年	2026年	増減	
			金額	率			金額	率
プロダクションプリンティング	67	**66**	△1	△2%	27	**36**	+9	+34%
産業機器	134	**131**	△3	△2%	69	**65**	△4	△6%
ヘルスケア	148	**166**	+18	+12%	43	**26**	△17	△40%
売上高	349	**363**	+14	+4%	139	**127**	△13	△9%
営業利益	36	**40**	+4	+11%	19	**13**	△6	△33%
利益率	10.3%	**11.0%**	+0.7pt	–	13.9%	**10.2%**	△3.7pt	–

© Canon Marketing Japan Inc. 2026

次に、プロフェッショナルセグメントです。4Qは、減収・減益を見込んでおります。

売上は、対前年9%減の127億円を見込んでおります。
営業利益は、売上減少に伴う荒利の減少や、販管費の増加により、対前年6億円減の13億円を見込んでおります。

プロダクションプリンティングについては、高速カット紙プリンター等の拡販を進めることにより、
売上は大幅に増加する見込みです。

産業機器については、半導体関連の検査・計測装置の案件が減少することにより、売上は減少する見込みです。
なお、2027年に計画している案件については概ね受注済みです。
2028年以降はお客さまの積極的な設備投資が見込まれ、当社でも提案活動が活発化しております。

ヘルスケアについては、前年同期に複数の病院向け案件があり、その剥落により、売上は減少する見込みです。
なお、3Qまでに病院向けの大型案件が複数あったことから、年間の売上は前年並みとなる見込みです。

【補足資料】主要製品売上・台数

■ITソリューション

連結

		2025年 対 2024年					2026年 対 2025年					前回公表値
		1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q 実績	年間 実績	1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q 計画	年間 計画	年間 計画
SI・ソリューション	（金額）	+1%	+1%	+4%	+10%	+4%	+5%	+10%	+1%	+6%	+6%	+11%
サービス・アウトソーシング	（金額）	+27%	+8%	+7%	△2%	+9%	+5%	+8%	+9%	+8%	+8%	+8%
ITプロダクト・システム構築	（金額）	+30%	+8%	+14%	+4%	+13%	+2%	△5%	+4%	+0%	+0%	△8%
ネットワークカメラ	（金額）	△0%	+53%	+4%	+7%	+13%	+32%	△4%	+41%	△0%	+15%	+15%

※2026年1月より、ITソリューションにおける3区分の名称を「SIサービス」「保守・運用サービス/アウトソーシング」「ITプロダクト・システム販売」から、「SI・ソリューション」「サービス・アウトソーシング」「ITプロダクト・システム構築」に変更し、集計基準を変更しました。これに伴い、「2026年対2025年」における2025年実績を組替えております。

© Canon Marketing Japan Inc. 2026

23ページ目は、補足資料として掲載しております「主要製品売上・台数」表についてご説明いたします。

まずは、「ITソリューション」です。

「SI・ソリューション」は、エンタープライズセグメントにおいて3Qまでの進捗を踏まえ、
見通しをプラス11%からプラス6%に変更いたしました。

「ITプロダクト・システム構築」は、コンスーマセグメントにおいてポータブルSSDや、
エンタープライズセグメントにおいて文教向けの販売が想定よりも上振れたため、
見通しをマイナス8%からプラス0%に変更いたしました。

3Qのグループトータルの「ネットワークカメラ」は、エンタープライズセグメントにおいて、
ビデオ管理ソフトウェア「XProtect」等が好調に推移したことにより、対前年41%増となりました。
2026年の年間計画については、前回公表値から変更ございません。

【補足資料】主要製品売上・台数

Canon
キヤノンマーケティングジャパングループ

■キヤノン製品他

単体（全社）

		2025年 対 2024年					2026年 対 2025年					前回公表値
		1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q 実績	年間 実績	1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q 計画	年間 計画	年間 計画
オフィスMFP レンタル込	（台数）	△3%	+7%	+9%	+6%	+5%	+8%	+6%	△4%	+5%	+4%	+4%
保守サービス	（金額）	△4%	△1%	△1%	△2%	△2%	+0%	△2%	+1%	△1%	△1%	△1%
レーザープリンター	（台数）	+4%	+2%	△1%	△7%	△1%	△4%	+11%	+21%	+9%	+8%	+8%
レーザープリンターカートリッジ	（金額）	△3%	△0%	△1%	△3%	△2%	+0%	+5%	+16%	△28%	△2%	△2%

連結

商業印刷	（金額）	+5%	+10%	+10%	△1%	+6%	+5%	△7%	△4%	+7%	+0%	+0%

単体（全社）

		2025年 対 2024年					2026年 対 2025年					前回公表値
		1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q 実績	年間 実績	1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q 計画	年間 計画	年間 計画
レンズ交換式カメラ	（台数）	△15%	△12%	△25%	+19%	△7%	+18%	△5%	+11%	△3%	+3%	+3%
インクジェットプリンター	（台数）	△14%	△8%	△14%	△0%	△8%	△7%	△9%	△12%	△6%	△8%	△4%
インクジェットプリンターカートリッジ	（金額）	△7%	△7%	△5%	△9%	△7%	△3%	+4%	△6%	△9%	△4%	△4%

© Canon Marketing Japan Inc. 2026

次に、「キヤノン製品他」です。

「オフィスMFP」から「レーザープリンターカートリッジ」まで、
「レンズ交換式カメラ」と「インクジェットプリンターカートリッジ」の3Qの実績については、
セグメント情報でお伝えしている通りであり、2026年の年間計画については、前回公表値から変更ございません。

「インクジェットプリンター」は、市場が想定以上に縮小しているため、
見通しをマイナス4%からマイナス8%に変更いたしました。

3Qのグループトータルの「商業印刷」は、
プロフェッショナルセグメントのプロダクションプリンティングの売上が減少したことにより、対前年4%減となりました。
2026年の年間計画については、前回公表値から変更ございません。

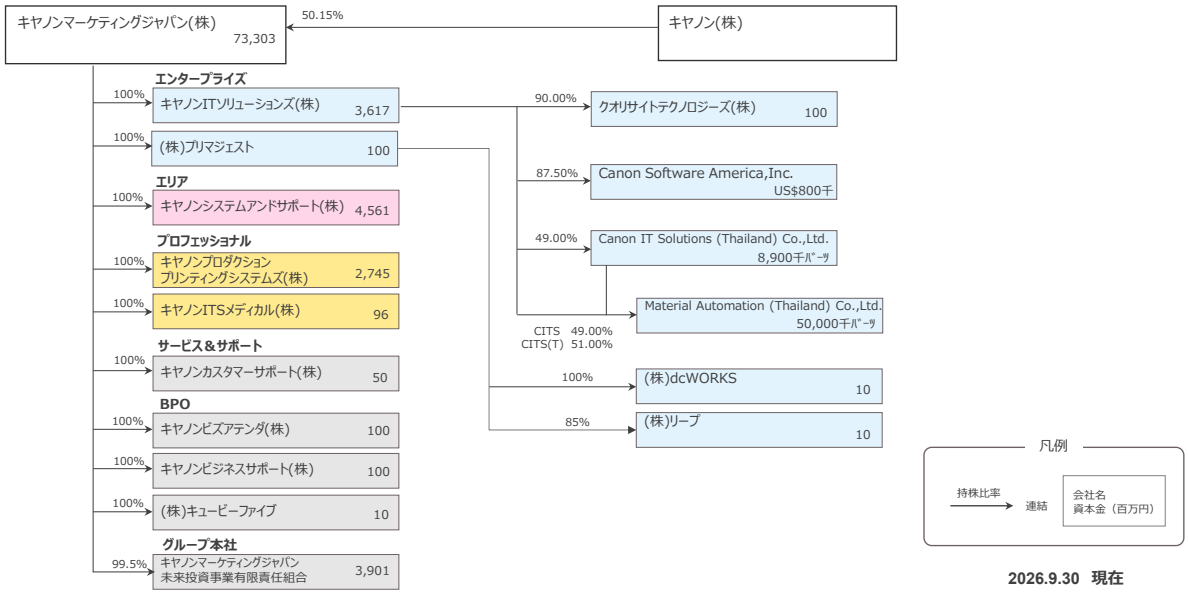
Canon

キヤノンマーケティングジャパングループ

本日のご説明は以上となります。
ありがとうございました。

参考資料

関係会社出資関係図



2026.9.30 現在

© Canon Marketing Japan Inc. 2026

販管費の内訳　第3四半期(7月～9月)

（単位：億円）

	2025年 3Q	2026年 3Q	増減
広告宣伝費	9	**11**	+2
販売促進費	7	**6**	△1
保証費	7	**7**	+0
その他直接費	47	**49**	+2
人件費	226	**220**	△6
拠点費用	26	**21**	△5
IT費用	29	**29**	△0
のれん等償却費	9	**7**	△2
その他販売費	39	**39**	△1
合計	400	**389**	△11

© Canon Marketing Japan Inc. 2026

販管費の内訳　第3四半期累計(1月～9月)

（単位：億円）

	2025年 1Q-3Q	2026年 1Q-3Q	増減
広告宣伝費	30	**30**	+0
販売促進費	22	**19**	△3
保証費	21	**20**	△1
その他直接費	143	**147**	+4
人件費	682	**654**	△28
拠点費用	67	**63**	△5
IT費用	79	**81**	+2
のれん等償却費	26	**21**	△5
その他販売費	117	**119**	+2
合計	1,186	**1,154**	△32

© Canon Marketing Japan Inc. 2026

営業外収支の内訳

（単位：億円）

	2025年3Q	2026年3Q	増減	2025年1Q-3Q	2026年1Q-3Q	増減
受取利息	1	1	+0	3	4	+0
受取配当金	0	0	+0	2	2	+0
受取保険金	0	0	△0	5	5	△0
投資事業組合運用益	4	-	△4	4	-	△4
その他	0	0	△0	3	2	△1
営業外収益　計	7	2	△5	17	12	△5
支払利息	0	0	+0	1	1	+0
投資事業組合管理費用	1	1	+0	2	2	+0
為替差損	-	0	+0	0	0	△0
投資事業組合運用損	△0	△0	△0	-	0	+0
その他	0	1	+0	2	2	+0
営業外費用　計	1	1	+1	4	5	+1

© Canon Marketing Japan Inc. 2026

特別損益の内訳

（単位：億円）

	2025年 3Q	2026年 3Q	増減	2025年 1Q-3Q	2026年 1Q-3Q	増減
固定資産売却益	0	0	+0	0	0	+0
投資有価証券売却益	11	6	△5	16	11	△4
その他	-	0	+0	-	0	+0
特別利益 計	11	6	△5	16	11	△4
固定資産除売却損	0	0	+0	1	1	+0
投資有価証券売却損	-	0	+0	0	0	+0
減損損失	-	-	-	5	-	△5
その他	-	-	-	0	-	△0
特別損失 計	0	0	+0	6	1	△5

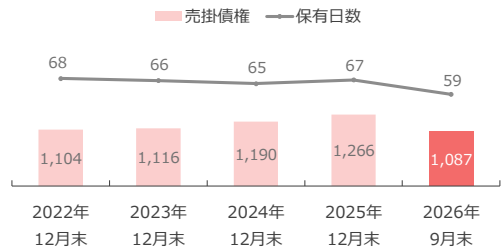
© Canon Marketing Japan Inc. 2026

貸借対照表

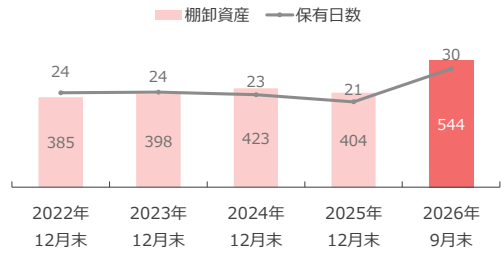
	2025年12月末	2026年9月末	増減
資産	5,644	5,388	△257
流動資産	3,396	3,022	△375
金融資産	1,601	1,258	△343
売掛債権	1,266	1,087	△179
棚卸資産	404	544	+141
その他	126	133	+7
固定資産	2,248	2,366	+118
有形固定資産	868	864	△4
無形固定資産	520	578	+59
投資その他	860	923	+63
負債	1,506	1,461	△46
流動負債	1,251	1,233	△18
買掛債務	521	525	+3
その他	730	708	△21
固定負債	255	228	△28
純資産	4,138	3,927	△211
株主資本	3,617	3,450	△167
（自己株式）	△204	△507	△303
その他の包括利益累計額	511	470	△41
新株予約権	1	1	+0
非支配株主持分	9	6	△3
自己資本比率	73%	73%	△0%

■売掛債権

（単位：億円）

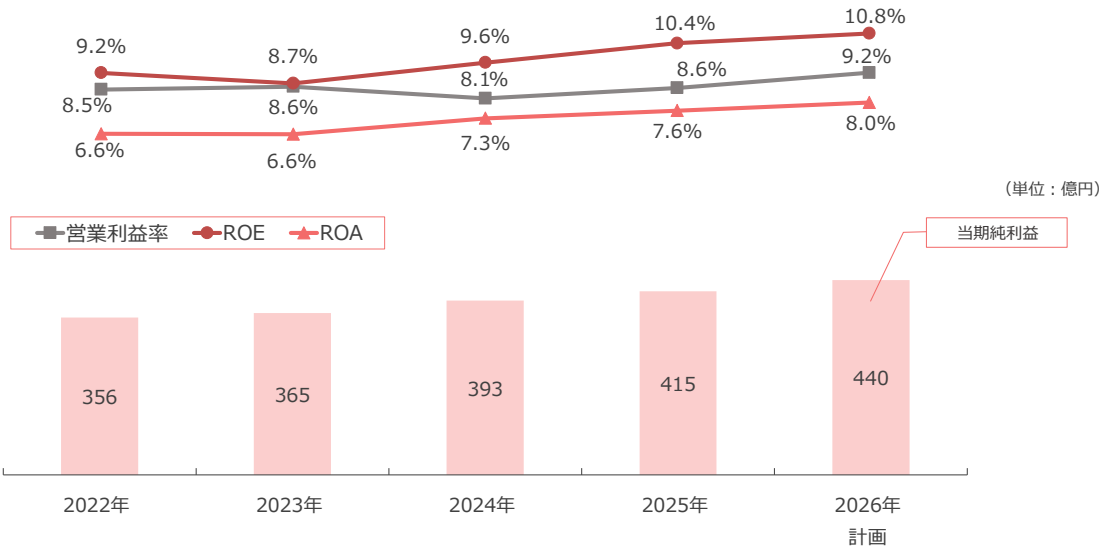


■棚卸資産



© Canon Marketing Japan Inc. 2026

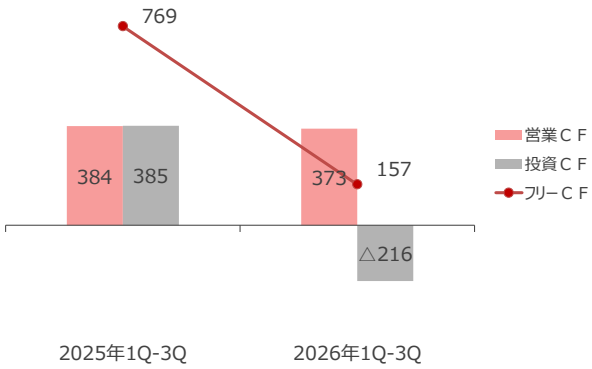
財務指標　営業利益率／ROE ／ROA



© Canon Marketing Japan Inc. 2026

財務指標　キャッシュ・フロー／設備投資／減価償却

■キャッシュ・フロー



■設備投資

（単位：億円）

	1Q-3Q 実績	4Q 計画	年間
2025年 実績	125	53	179
2026年 計画	178	85	263

■減価償却

	1Q-3Q 実績	4Q 計画	年間
2025年 実績	89	32	121
2026年 計画	98	33	131

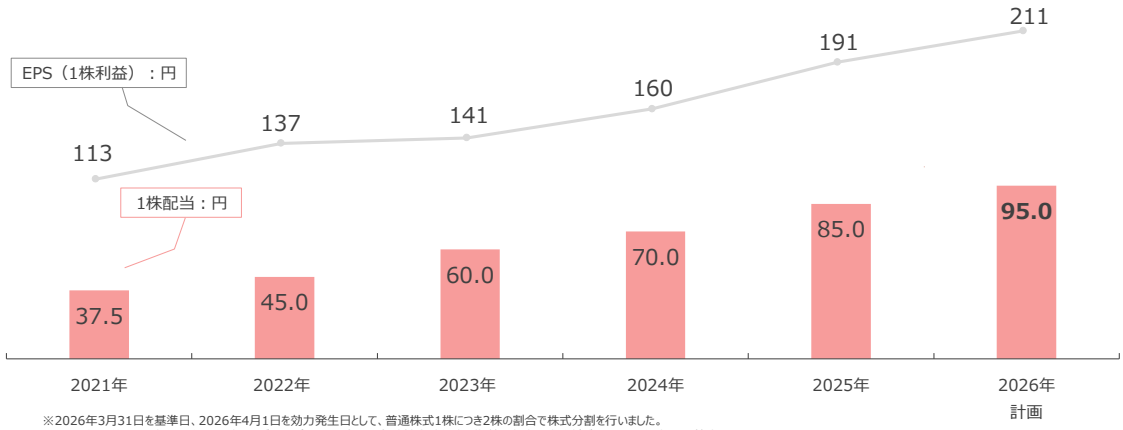
© Canon Marketing Japan Inc. 2026

財務指標　配当性向／EPS／配当

Canon
キヤノンマーケティングジャパングループ

基本方針　連結配当性向30%をベース　→　連結配当性向40%以上を目途

配当性向	33%	33%	43%	44%	45%	45%

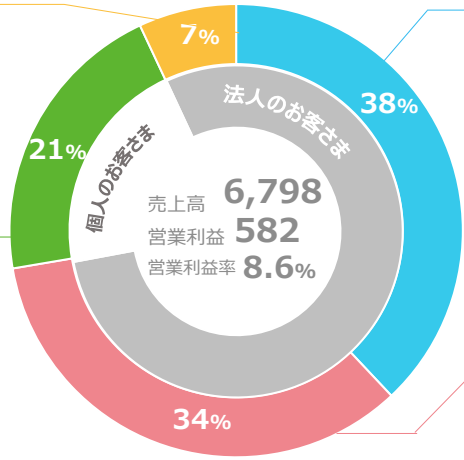


※2026年3月31日を基準日、2026年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。
2025年以前の1株当たりの年間配当およびEPS（1株利益）は、各連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、算定しております。

© Canon Marketing Japan Inc. 2026

セグメント別売上構成（2025年度）

（単位：億円）



4 プロフェッショナル

専門領域のお客さま

プロダクションプリンティング / 産業機器 / ヘルスケア

売上高	営業利益
488	55 (11.4%)

1 エンタープライズ

大手、準大手・中堅企業のお客さま

売上高	営業利益
2,658	211 (7.9%)

3 コンスーマ

個人のお客さま

売上高	営業利益
1,448	130 (9.0%)

2 エリア

全国の中小企業のお客さま

売上高	営業利益
2,403	223 (9.3%)

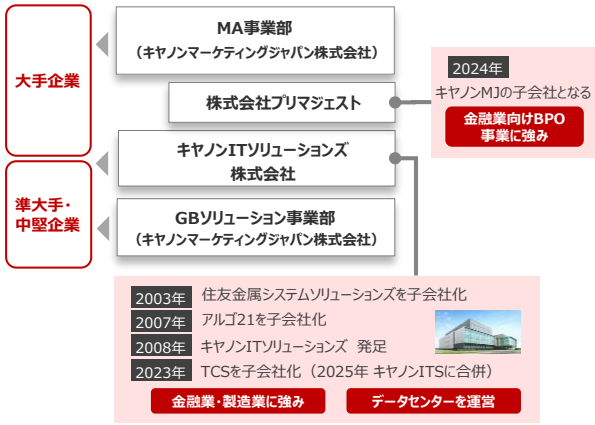
※上記以外に、セグメント間取引消去とシェアードサービス事業、各セグメントに配分していない全社費用等として、その他売上△198億円、その他営業利益△38億円があります。

© Canon Marketing Japan Inc. 2026

セグメント別　事業概要

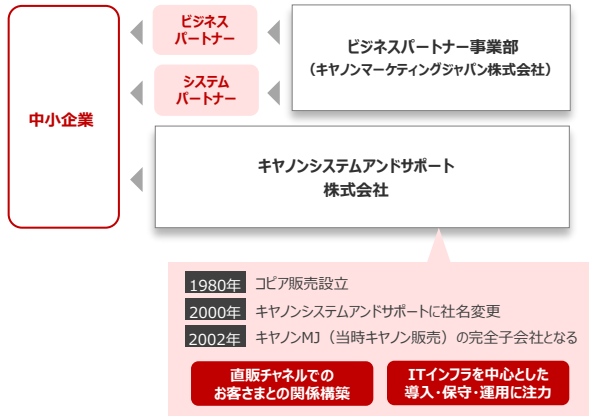
1 エンタープライズ

大手企業から準大手・中堅企業や官公庁、教育機関などの幅広いお客さま向けに、業種・業態ごとに異なる経営課題解決に寄与するキヤノン製品やITソリューション、BPO等を提供しています。



2 エリア

ビジネスパートナー、システムパートナーによる**間接販売**、キヤノンシステムアンドサポートによる**直接販売**からなる多様なチャネルを最大限に生かし、日本全国の**中小企業のお客さま**向けに、キヤノン製品やITソリューションを提供しています。



© Canon Marketing Japan Inc. 2026

セグメント別　事業概要

Canon
キヤノンマーケティングジャパングループ

3 コンスーマ

キヤノンの祖業であるカメラをはじめとするイメージング製品群・インクジェットプリンター等のキヤノン製品とキヤノンブランド以外のコンスーマユース向けプロダクトを、**量販店やオンラインショップ等を通じて個人・法人のお客さま**に販売しています。

カメラ事業

インクジェットプリンター事業

趣味、写真、在宅勤務

ITプロダクト事業

高性能PC　　eスポーツ等に使用

4 プロフェッショナル

プロダクションプリンティング、産業機器、ヘルスケアといった、**各専門領域のお客さま**を対象とした製品やソリューションを提供しています。

産業機器

半導体製造関連

プラズマアッシング装置

外観検査装置

非半導体関連

X線分析装置

産業用3Dプリンター

※主に海外から仕入れて日本国内のお客さまにローカライズして販売、設置・保守まで行う

プロダクションプリンティング

プロダクションプリンター

iX3200　　カラーIJプリンター

MJP20JXR　　モノクロIJプリンター

ソフトウェアサービス

- ワークフローソリューション
- Connect Works Manager
- 図面管理
- POPシステム

ヘルスケア

- 電子カルテ
- 調剤システム

© Canon Marketing Japan Inc. 2026

社外からの評価・指数への選定（ESG等）

Canon
キヤノンマーケティングジャパングループ

FTSE4Good Indexに選定

FTSE4Good

FTSE JPX Blossom Japan Indexに選定

FTSE JPX Blossom Japan Index

FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Indexに選定

FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index

Morningstar 日本株式ジェンダー・ダイバーシティ・ティルト指数に選定（GEグループ3）

JPX日経インデックス400に選定

JPX-NIKKEI 400

MSCI日本株ESGセレクト・リーダーズ指数に選定

2026 CONSTITUENT MSCI日本株 ESGセレクト・リーダーズ指数

MSCI日本株 女性活躍指数に選定

2026 CONSTITUENT MSCI日本株 女性活躍指数 (WIN)

S&P/JPXカーボン・エフィシェント指数に選定

S&P/JPX カーボン エフィシェント 指数

SOMPOサステナビリティ・インデックスに選定

2026 Sompo Sustainability Index

（※）THE INCLUSION OF Canon Marketing Japan Inc. IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF Canon Marketing Japan Inc. BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.

© Canon Marketing Japan Inc. 2026

社外からの評価（人的資本）

健康経営優良法人

えるぼし認定（２つ星）

グッドキャリア企業アワード
「大賞」受賞

プラチナくるみん認定

「DX検定™」シリーズにおいて
IFSJ イノベーションアワード
「企業優秀賞」「優秀賞」を受賞

© Canon Marketing Japan Inc. 2026

Canon

キヤノンマーケティングジャパングループ